

# 市民自ら政策を持とう

## 第 31 回会合

2016 年 7 月 23 日（土） 13:30-16:00

会場 市民政党草の根事務所

**河井** この会が始まって 3 年になる。今後も続けるべきかどうか、ということについて、いろいろ意見があると思うが、前回に、今のような大事な時にこの会をやめるということもどうか、という意見もあったので、やり方について考え直すことがあるとしても、今後ともこの会の活動を続けようということになった。

今日は、どのような形で続けていけばいいかということ相談したい。それがプリントの左側のページにあげた項目である。

1. 会の名称
2. 演説・意見発表・講演
3. 自由討論
4. 記録と報告書
5. ホームページ&ブログ
6. 日時
7. 会場
8. 会費
9. 会員制度

プリントの右側は話し合うテーマとして考えられる項目を、私が個人的に考えたテーマである。(リストは省略) このうち、「地位協定」と「従軍慰安婦」と「日米安全保障条約」については、個人演説と自由討論まではしたが、提言を作成するには到っていない。

会の在り方について、先ず会の名称。「市民自らの政策を持とう」という名称は小田実の使った言葉をそのままいただいて会の名称にしたものである。しかし、市民の考えた政策はすべて正しい、とは必ずしも言えない。今回の選挙でも、すべての市民が、必ずしも現在の政治状況を正しく認識しているとはいえないように思えることが多々あった。新聞報道などを見ても、「市民の意見」が必ずしも常に私たちが安心できるような方向に向かっているのではないという事がわかる。

**南部** ホームページもブログもこの名前で作っている。ここで名前を変えて引き継いでやっていくこともできないではないけれど、せつかくここまで来ているのに、名前が悪いわけではないから、多少これからはみ出すような事があっても、市民が考えていることだからということで、このままの名称でやったほうがいいように思う。

**河合** 民主党が選挙直前におかしな名前に変えたので、あれで相当落ちたのではないか。

**藤村** 現在の名称でいいのじゃないかと思う。

**河井** 「ただ市民が考える政策」というのでなく、「市民としての良識によって考えたら、これくらいのことはごく当たり前のことではないか」という考え方を明らかにすることが

必要だ。高度に専門的な知識で論証することが必要という意味ではない。そういう姿勢が伝わるような名称だといいたと思った。

**津田** 名称を変えねばならないという理由があるのかどうか。

**河井** 名称の問題は保留して、最後にも一度考え直すことにする。

次に、これまでは「個人演説」と「自由討論」という二本だてでやってきたが、「演説」というのはどうも評判が良くない。「演説なんかできないよ」と言ってみな尻込みしてしまう。この言葉で二の足を踏む人があるとすれば、すこし控えた方がいいかとも思う。内容は「意見発表」とか「講演」とかでいいのだが。

**津田** 「演説」とか「意見発表」とか、名称そのものより、政策を持とうということで相当掘り下げてものを言うことをまとめてきた。それが一番大変なんだと思う。例えば、自民党の政策なんて、ものすごいアバウトだ。一行か二行で終わるようなことだ。我々が深いところの知識を持って議論しなければいけないのだろうか。根本的なところまで考えてやらなければいけないのか。議員も大ざっぱな方向を示すだけで、あとは官僚とか組織がやっていくわけだろう。もうすこし浅い意見なんかも政策になったりする。そうでないとみんながなかなかついてこない。例えば女性活躍とか、派遣社員とか、これらについて、僕らはデータのものは何もないから、深いところから反論はできないとしても、最低賃金が低いわけだ。派遣社員の賃金を見ると保護家庭にちょっと色がついた程度のものだろう。労働だけじゃないかというような事を言ってもいいのではないか。派遣社員の何が問題かといえば給料が安い。社会保険も企業が払ううえに、個人が払うような形だろうから、そういうことを言うのも政策としてあっていいのではないかと思う。アベノミクスでも中身は何もない。日銀も国債を買い上げる金がないから、ファンドに投資して株価を操作してる。掘り下げて発言できるところまではできないけれど、「それっておかしいよね」ということまでは言うことができるのではないか。原発も再稼働されているが、政策として、今再開するというのはおかしいよ、休ませておく、そういうことを細かく発信してもいいのではないか。

**河井** 原発については南部さんも随分丁寧にやって、理論的には文句言えないところまで押してある。あの提言が変わるといえることはないと思う。思いつきで意見を言っただけじゃなく、ある程度裏付けを持って言っていることである。

**南部** 今の 40 年廃炉のことだって全くおかしくなって、それでも粛々としてやろうとしている。福島は全然何も片づいていない。全くアンバランスになっている。そういう事にたいしては再度、問題提起をすべきだと思う。特に 40 年廃炉のことは絶対守るべきだと思う。

「演説」というのはやめよう。話題提供、意見発表とか、軽いニュアンスでやればいいのではないか。もう 1 つ、外部から責任者を呼んでやることもある。

国病の上から見ると、愛宕山の野球場はほとんど出来上がっている。ソフトボール場、米軍住宅だって着々と進んでいる。われわれはそれの説明は一切受けていない。だから市の責任者を呼んで問題提起する。そういうこともやっていかなきゃいけないと思う。こちらが言うだけでなく、向こうからどうなってるかを言わせる。そういうやり方もある。up to date (最新) の問題について、責任者を呼んでとっちめるといえることはあってもいい

のではないか。次回やるとすればそれぐらいまで範囲を広げてもいいのではないか。

**中尾** 岩国の基地問題について、岩国市民は無関心すぎると思う。いま、岩国は基地内工事がどんどん進んで、厚木の艦載機がいつ来ても受け入れができるよう準備されている。愛宕山でも工事が進み、住宅やスポーツ施設が建設されている。極東最大の空軍基地が出来ようとしている。150機あまりの各種戦闘機、空中給油機、偵察機その他、それにとりまなう兵員、家族の住宅 etc. これにより、岩国市民の日常生活は、大きな不安と危険を抱えこむことになる。

**河井** これまでは自分たちがない知恵を絞り出して政策を示そうと頑張った。そうではなく、直接の責任者に発言させるのがいいということだろうか。彼らが出てくるかどうかわからないけれど。

**南部** 拒否されるかもしれないけれど、そういうアクションをとらんとはいけない。何も知らせないで、はい、きましたという。艦載機移転にしてもそうだ。責任者たちと対決するような形に持っていったほうがいいのではないか。

**河井** 市民自らの政策というからには、人に言わせるのではなく、自分が考えていることをちゃんと言おうということやってきたのだが、市民自身が政策を固める上で知っておかなければいけない情報を出させる、ということがあってもいいということだろう。

**藤村** 私は今の安倍政権が最低だから、安倍の支持率が下がらんということがおかしいと思う。あんなおかしいことをしているのに。安倍の正体を知らないのだ。安倍の正体をみんなに知らせなきゃいけないと思う。安倍には歴史認識が全くないという事。財閥に有利なことしかしないという事。昔の神の国日本に戻したいという事。嘘を平気で言う事。一番いけない事は憲法を自ら変えようとしていることだ。私は彼は犯罪者と思う。その安倍の支持率が下がらんというのはなぜだろうか、わからない。安倍の正体を知らないからだ。

**河合** 天皇が生きてるうちに天皇の位を譲るといふ。天皇は安倍の憲法改正草案を見たのではないか。こういう方向に、天皇を象徴から元首にもどして、天皇の権限を拡大しようとしているのを、侍従たちが天皇に言ったのだろうか。天皇はその責任から逃げようとしているのではないか。

**河井** それはありうると思う。タイミングが余りにも合っている。

**南部** そこまで私は悪くは考えない。

**河合** 悪くじゃない。私は天皇の考えが正しいと考えている。昭和天皇の時に世界大戦をした。自民党の憲法改正草案の天皇元首制を見て、これだと、自分が責任を取らなければならない事態になるかもしれないと考えたのではないか。

**河井** 天皇自身が退位してその責任から遁れられるとしても、皇太子が天皇になって、戦争の責任を担うことになることは、父親として耐えられないことかもしれない。

#### (注記)

大日本帝国憲法 第3条 天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス。

第4条 天皇ハ国ノ元首ニシテ統治権ヲ総覽シ此ノ憲法ノ条規ニ依リ之ヲ行フ。

日本国憲法 第1条 天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く。

日本国憲法改正草案 第1条 天皇は、日本国の元首であり、日本国および日本国民

統合の象徴であって、その地位は、主権の存する日本国民の総意に基づく。

**藤村** でも、今の天皇、皇后、皇太子はいいと思う。認識がしっかりある。

**南部** 私もそう思う。ただ、政治的発言ができないから。本人がそう思ってることは間違いない。

**河井** あの発言が、天皇に許される限界内の、精一杯の意思表示ではないか。天皇は、昭和天皇時代の侵略地フィリピンに行って、多くの戦死者、被害者にたいして慰霊の祈りをした。

**藤村** あの時も、日本の戦死者よりも、あえて先にフィリピン人の死者の慰霊をした。えらいと思う。

**(注記)**「天皇陛下のお言葉全文」『中国新聞』、『朝日新聞』他各紙 2016年8月9日。

**津田** やはり、タイムリーなことを出していくべきだろう。日米地位協定がどうのこうのというのも、法律論だ。

**中尾** テーマについていろいろと書かれているが、討論の議題を絞らないと話がばらばらになる。議題を一本化したほうがいいと思う。

**河井** 次に記録の作成と報告のありかたについて。テープオコシまでやる必要はないとの意見があった。

**南部** 私は発言をくわしく記録することはいいことだと思う。校正するとき、適切でない部分は訂正することもできる。自分の発言にはそれだけの責任を負わねばならない。ただ、河井さんはせっかちだ。もっとゆっくりやってもいい。

**河井** テープおこしは早くやらないとやる気がなくなる。また時間がたって記憶がうすれると、聞き取りにくい録音の再現が難しくなる。校正は1カ月以内にやる、ということにするか。

**南部** そこまで遅らせなくてもいい。

**河井** 編集者が記録を整理するというやりかたもあるが、発言した本人が一番強調したかったことが消されて、それほどでないことだけが記事になるということもある。マスコミによくみられることだ。編集者が、録音を機械的に再生したうえに、記録をよみやすく整理するには、非常に時間がかかる。また編集者の主観も入る。それぐらいは発言者自身がやれるのではないか。

**津田** 「提言」は出さなくてもいいのではないか。疑問点を整理して記録することも必要だ。

**河井** 発言者の名前を書かないという方法もある。

**南部** 名前を書いたり書かなかったりすると、信用がなくなる。

**河井** 次にホームページとブログについて。これは続けられるものなら続けてほしい。

**南部** 続けることに問題はない。

**河井** 日時というのは、とくに会合の間隔のことだ。毎月1回というのはしんどい。2カ月に1回ということではどうか。

**津田** 急がねばならないテーマもある。テーマによって、次の日程をきめればいい。

**河井** 会場は、これまで福社会館を利用したが、私が岩国市民でないので、利用が難しい。この「市民政党 草の根」事務所は土日なら利用できるということだった。

南部 たぶん大丈夫だろう。

河井 次に会費。これまで参加者に毎回 500 円カンパをしてもらったが、会場利用費が不要になれば、こんなにはいない。「提言」印刷の費用もいらなくなりそうだ。ただし会場の光熱費ぐらいは負担しなければなるまい。

南部 毎回出すより、年間会費として 2000 円出すことにすればいい。

河井 それでは会員制度ということになる。毎年、年度はじめに 2000 円出して、1 年間会員、とすることにしよう。次回に 2000 円お願いする。(年間の途中参加するときでも、その年度分を提出する)。

最後に、会の名称について、やはり現在の名称のままでいいか。ただし、ホームページでは「市民自ら政策を持とう」となっているが、ブログでは「市民自らの政策を持とう」となっている。「市民自ら政策を持とう」に統一することにする。

次に、とりあげるテーマについて。

藤村 沖縄の基地問題にたいして、本土の人たちが真剣に考えていない。

南部 普天間基地を辺野古に移転するのではなく、グアムに引き揚げることにすべきである。

河井 グアムの住民に負担を転嫁するのはいけない、という意見もある。

南部 それはアメリカの考えるべきことで、われわれの考えることではない。

中尾 北朝鮮の弾道ミサイルはアメリカ本土を標的にしている。丹後半島の X バンド・レーダーはアメリカ本土防衛のためのもので、日本を守るためではない。最近の『朝日新聞』によると、韓国にアメリカの最新鋭の迎撃ミサイル「サード(THAAD)」が配備されるという。「サード」のレーダー探知能力は 1500km 以上で、中国政府は配備につよい危機感を持ち、強く反対している。岩国基地が強化されれば、北朝鮮は岩国基地を攻撃の標的にすることになるだろう。

(参考資料)「岩国米軍基地の強化に繁体する岩国住民の皆さんに連帯のごあいさつをもうしあげます」平和と統一を拓く人々。(2016 年 8 月 21 日配布の文書)

河井 次回は 9 月 24 日(土)。テーマは「在日米軍基地の問題」を総合的に論議する。

論点：沖縄の基地と本土の基地の関係

基地爆音公害

米兵犯罪と治安

基地と地域経済

日米安保、日米地位協定との関係

厚木基地の艦載機の岩国移駐について

その他

発言者 (50 音順)

河合健夫 (周防大島町安下庄)

中尾久利 (周防大島町森)

河井弘志 (周防大島町日前)

南部博彦 (岩国市平田)

津田利明 (岩国市桂町)

藤村英子 (周防大島町下田)